



## 女性の就業に関する1万人調査 2023 通勤時間・就業時間の現状と希望の乖離



**正社員は通勤・就業時間どちらも短縮を希望、アルバイト・パートは就業時間の延長を希望  
特に、未就学・小学生の子どもがいる人は、より就業時間の延長を希望している**

本レポートは、株式会社リクルートの調査機関ジョブズリサーチセンターが行った「女性の就業に関する1万人調査2023」の結果から、就業条件の重要要素である通勤時間と就業時間に着目してまとめました。調査全体の結果については、[基本報告書](#)をご覧ください。

### 【調査概要】

今回の調査では、正社員は通勤・就業時間どちらも短縮を希望している一方、アルバイト・パートは就業時間の延長を希望している傾向が見られました。特に、未就学・小学生の子どもがいる人にその傾向が強く、企業側からの働きかけによって就業時間を延長できる可能性があります。ただし、単純に「もっと働ける」とは限らず、もっと働きたいと思っているものの、何かしらの制約があり、働きたい分だけ働けていない可能性があるため、従業員とのコミュニケーションを通して打診することが重要でしょう。

#### ●正社員の現状と希望…P.2-3

通勤時間・就業時間ともに、約4割の人が現状と希望の「乖離あり」。「乖離あり」の内訳は、どちらも「より短く」が約9割で、**乖離がある人は、通勤時間・就業時間どちらもより短くしたいと考えている人が多い。**

#### ●アルバイト・パートの現状と希望…P.4-5

現状と希望の「乖離あり」は、通勤時間では約3割、就業時間では約4割と、正社員と比較して、通勤時間の「乖離あり」が少ない。「乖離あり」の内訳は、通勤時間は「より短く」が約8割だが、就業時間は「より長く」が約6割と、**乖離がある人は「もっと働きたい」と考えている人が多い。**

#### ●未就業者の希望…P.6

未就業者の希望の通勤時間は、「30分以内」までで9割以上を占める。この傾向は、正社員、アルバイト・パートと同じだが、「在宅」の割合が、正社員、アルバイト・パートよりも増える。就業時間は、「5時間程度」が25.0%と最も多く、次いで「4時間程度」20.7%が続く。**フルタイムの勤務ではなく、自宅近くで短時間勤務を想定している人が多い。**

#### ●参考) 仕事の満足度…P.7

全体では、「勤務地」「休日の曜日」「休日の日数」が6割程度と高い。正社員とアルバイト・パートで比較すると、全体的にアルバイト・パートの方が満足度が高く、特に「通勤時間」「休日の日数」は12ポイントの以上の差がある。アルバイト・パートは通勤時間に関しては、現状と希望の乖離が少ないことが、満足度からうかがえる。

### 調査概要

- 調査名 女性の就業に関する1万人調査 2023
- 調査方法 インターネット調査
- 調査期間 スクリーニング調査 2023/1/31(火)～2/2(木)  
本調査 2023/2/14(火)～2/20(月)
- 調査対象 全国18～69歳の女性  
※本レポートは、上記のうち、正社員、アルバイト・パート、未就業者を対象としている
- 回答者数 10,000人  
※スクリーニング調査の結果を、国勢調査をもとに年代別の人口構成比に合わせて補正し、年代×就業状況の出現率別に本調査の割付を設定

※グラフと数表は、集計結果の小数点以下第2位を四捨五入して表示している

### 関連レポート

[女性の就業に関する1万人調査2023 基本報告書](#)  
[20～49歳・既婚・子どもあり女性 10年前（2013年）、コロナ前（2019年）と2023年の比較レポート](#)

- 通勤時間の現状と希望に乖離がある人は全体で40.2%で、特に「未就学」の子どもがいる人に「乖離あり」の割合が多い。乖離ありの内訳は、全体では「より短く」が87.5%で、「60-69歳」と「未就学」の子どもがいる人にその傾向が強い。
- 就業時間の現状と希望に乖離がある人は全体で41.6%で、「中学生以上」の子どもがいる人は「乖離あり」の割合が他と比べて少ない。乖離ありの内訳は、全体では「より短く」が94.4%だが、「未就学」「小学生」の子どもがいる人は、「より長く」の割合が他と比べて多い。

■ 通勤時間の現状と希望の乖離

		(%)	
		乖離なし	乖離あり
n=			
■ 全体	2,489	59.8	40.2
年齢	18-29歳	622	40.4
	30-39歳	624	42.3
	40-49歳	655	39.7
	50-59歳	448	39.1
	60-69歳	140	35.7
	末子年齢	未就学	272
小学生		129	36.4
中学生以上		415	36.6
子どもなし		1,673	40.2

		(%)	
		より短く	より長く
n=			
1,000		87.5	12.5
251		89.2	10.8
264		87.9	12.1
260		85.0	15.0
175		86.3	13.7
50		94.0	6.0
129		93.0	7.0
47		76.6	23.4
152		83.6	16.4
672		88.1	11.9

乖離ありの内訳

■ 就業時間の現状と希望の乖離

		(%)	
		乖離なし	乖離あり
n=			
■ 全体	2,489	58.4	41.6
年齢	18-29歳	622	42.9
	30-39歳	624	41.5
	40-49歳	655	40.8
	50-59歳	448	40.6
	60-69歳	140	42.9
	末子年齢	未就学	272
小学生		129	43.4
中学生以上		415	35.2
子どもなし		1,673	42.5

		(%)	
		より短く	より長く
n=			
1,035		94.4	5.6
267		92.9	7.1
259		93.4	6.6
267		95.1	4.9
182		96.2	3.8
60		96.7	3.3
122		89.3	10.7
56		89.3	10.7
146		94.5	5.5
711		95.6	4.4

乖離ありの内訳

【言葉の定義について】

「乖離なし」：通勤・就業時間の現状と希望が一致している人

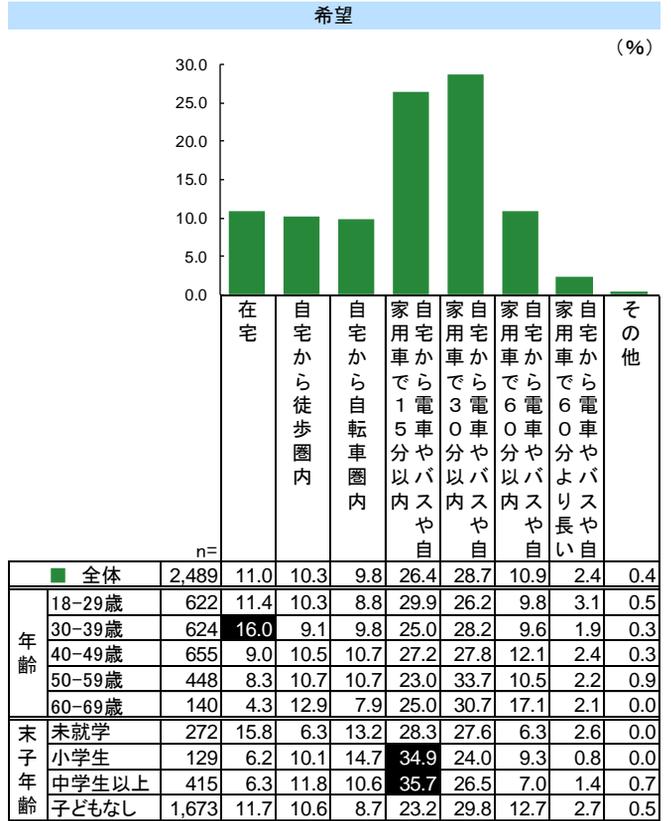
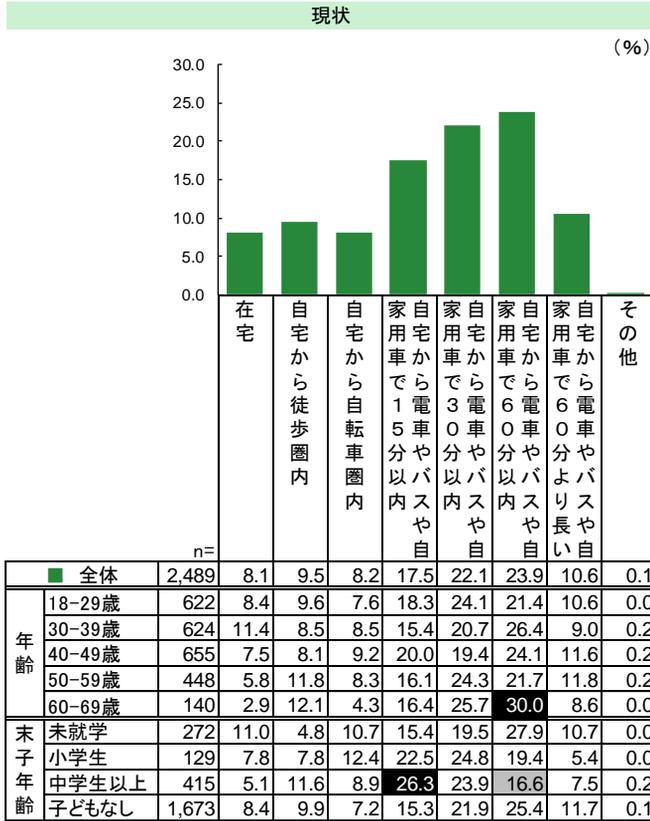
「乖離あり」：通勤・就業時間の現状と希望が異なる人

「より短く」：「乖離あり」のうち、現状よりも短い時間を希望している人

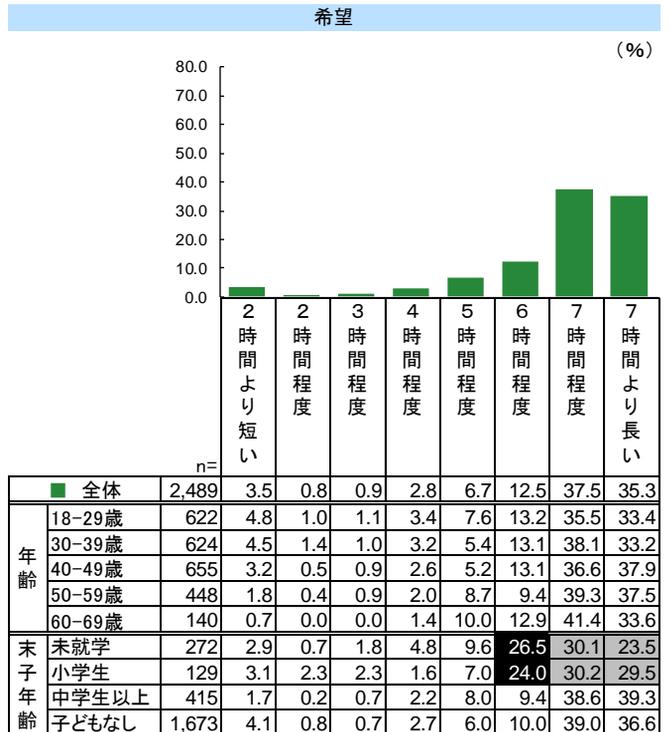
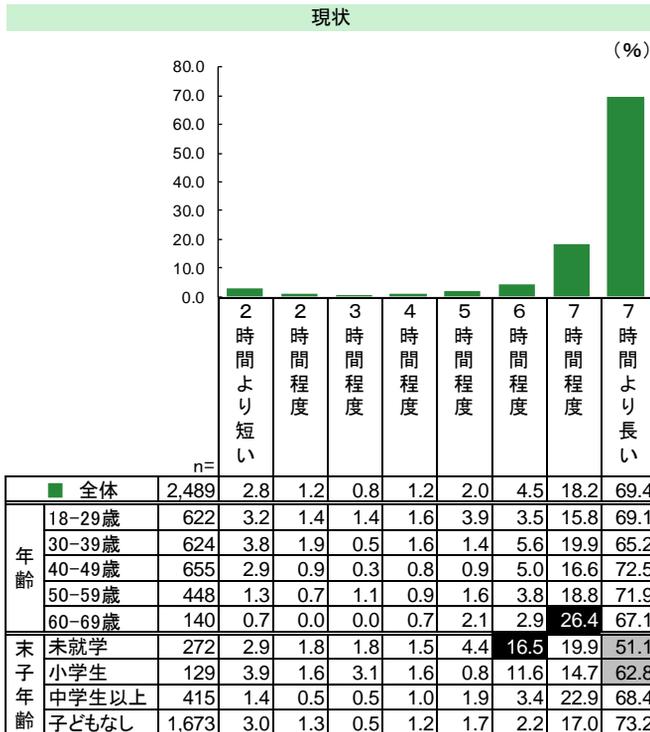
「より長く」：「乖離あり」のうち、現状よりも長い時間を希望している人

- 正社員の通勤時間は、現状は「60分以内」23.9%、「30分以内」22.1%が2割を超えており、希望は「30分以内」28.7%、「15分以内」26.4%が3割弱。就業時間は、現状は「7時間より長い」が69.4%と最も多く、希望は「7時間より長い」が大きく減少し、「7時間程度」が37.5%と最も多くなっている。

■ 通勤時間



■ 就業時間



反転シロスキ ... 全体の数値より5ポイント以上大きい (n=30以上)

灰色アミカケ ... 全体の数値より5ポイント以上小さい (n=30以上)

- 通勤時間の現状と希望に乖離がある人は全体で29.7%で正社員と比べて少ない。乖離ありの内訳は、全体では「より短く」が77.4%で、正社員と比べて「より長く」の割合が多い。
- 就業時間の現状と希望に乖離がある人は全体で36.9%で、この割合は正社員と大きく変わらないが、乖離ありの内訳が、「より短く」が全体で44.6%と、「より長く」を希望している人が多い。特に、「40-49歳」と「未就学」「小学生」の子どもがいる人は、「より長く」を希望している割合が多い。

■ 通勤時間の現状と希望の乖離

		(%)	
		乖離なし	乖離あり
n=			
■ 全体	2,543	70.3	29.7
年齢	18-29歳	63.2	36.8
	30-39歳	70.7	29.3
	40-49歳	71.9	28.1
	50-59歳	70.4	29.6
	60-69歳	73.5	26.5
末子年齢	未就学	71.2	28.8
	小学生	77.7	22.3
	中学生以上	74.9	25.1
	子どもなし	64.5	35.5

		(%)	
		より短く	より長く
n=			
756		77.4	22.6
144		68.1	31.9
122		80.3	19.7
191		72.8	27.2
182		82.4	17.6
117		85.5	14.5
57		80.7	19.3
45		71.1	28.9
258		78.7	21.3
396		76.8	23.2

乖離ありの内訳

■ 就業時間の現状と希望の乖離

		(%)	
		乖離なし	乖離あり
n=			
■ 全体	2,543	63.1	36.9
年齢	18-29歳	58.6	41.4
	30-39歳	65.6	34.4
	40-49歳	60.7	39.3
	50-59歳	63.8	36.2
	60-69歳	67.2	32.8
末子年齢	未就学	63.6	36.4
	小学生	59.9	40.1
	中学生以上	64.8	35.2
	子どもなし	62.0	38.0

		(%)	
		より短く	より長く
n=			
939		44.6	55.4
162		40.1	59.9
143		48.3	51.7
267		37.1	62.9
222		49.5	50.5
145		52.4	47.6
72		38.9	61.1
81		24.7	75.3
362		45.3	54.7
424		48.8	51.2

乖離ありの内訳

【言葉の定義について】

「乖離なし」：通勤・就業時間の現状と希望が一致している人

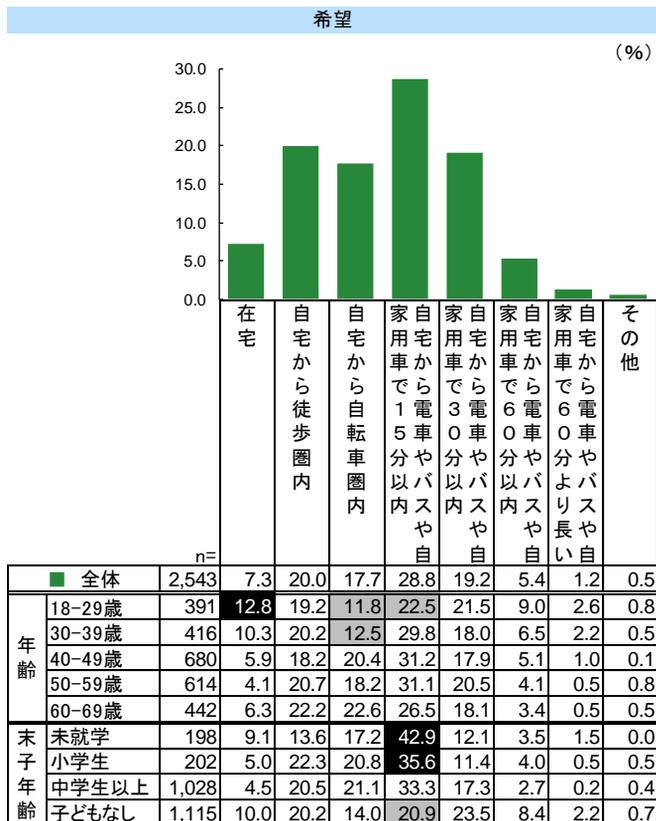
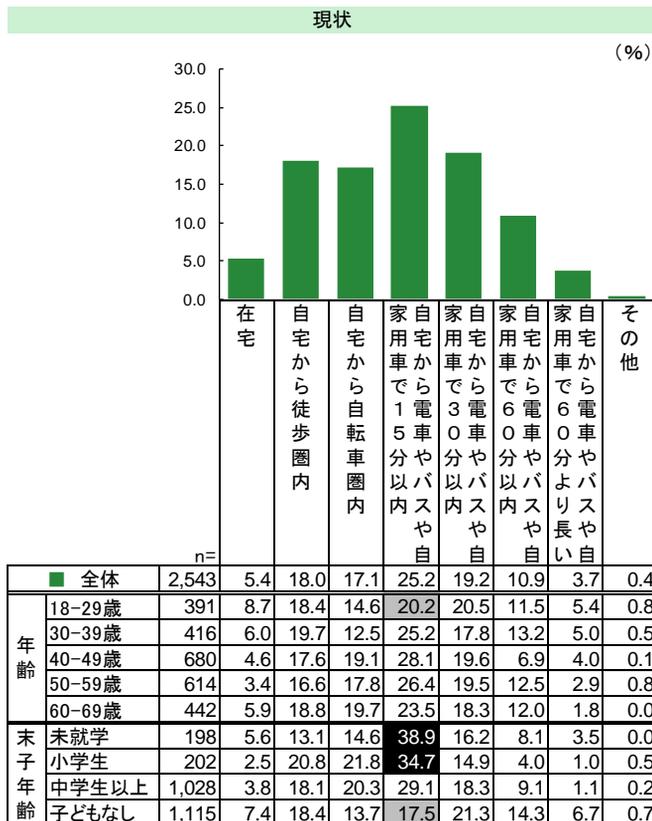
「乖離あり」：通勤・就業時間の現状と希望が異なる人

「より短く」：「乖離あり」のうち、現状よりも短い時間を希望している人

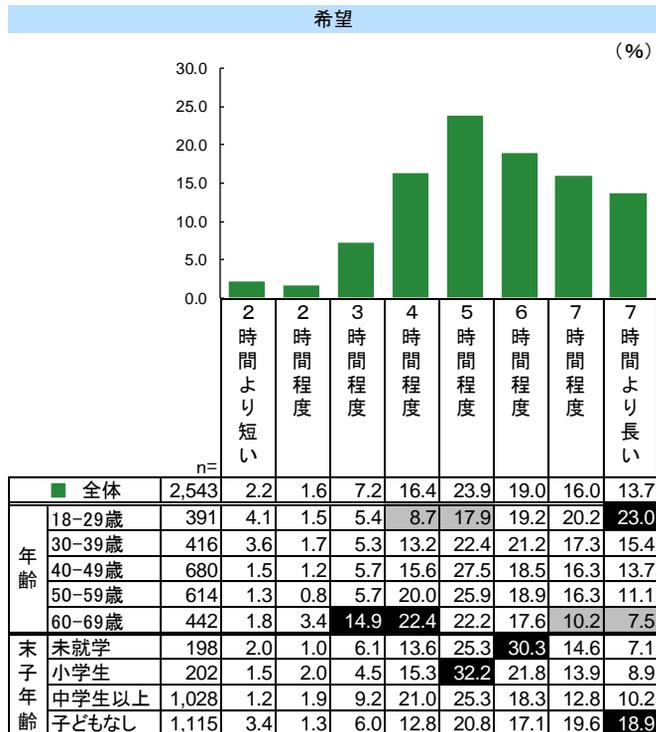
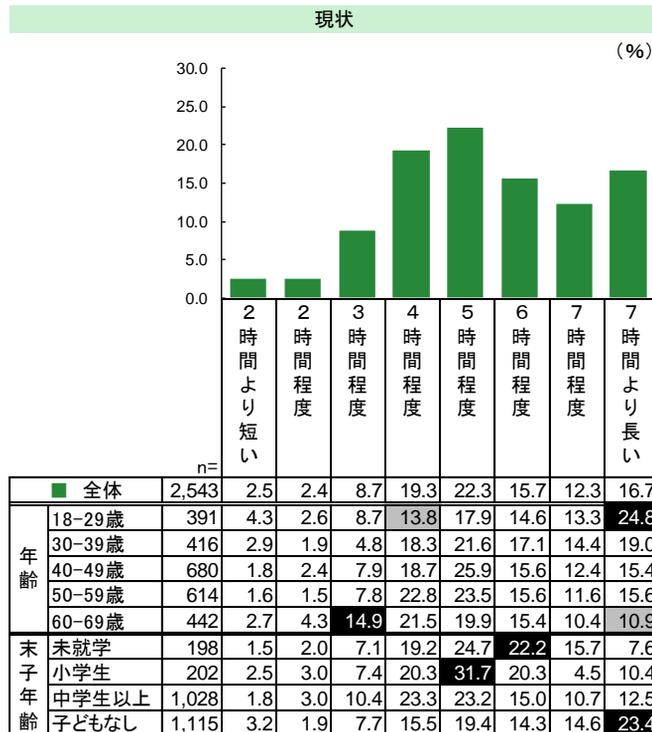
「より長く」：「乖離あり」のうち、現状よりも長い時間を希望している人

- アルバイト・パートの通勤時間は、現状も希望も「15分以内」が最も多く3割弱。就業時間は、現在は「5時間程度」22.3%、「4時間程度」19.3%が2割程度で、希望は「4時間程度」以下の割合が減り、「5～7時間程度」の割合が増加。

■ 通勤時間



■ 就業時間



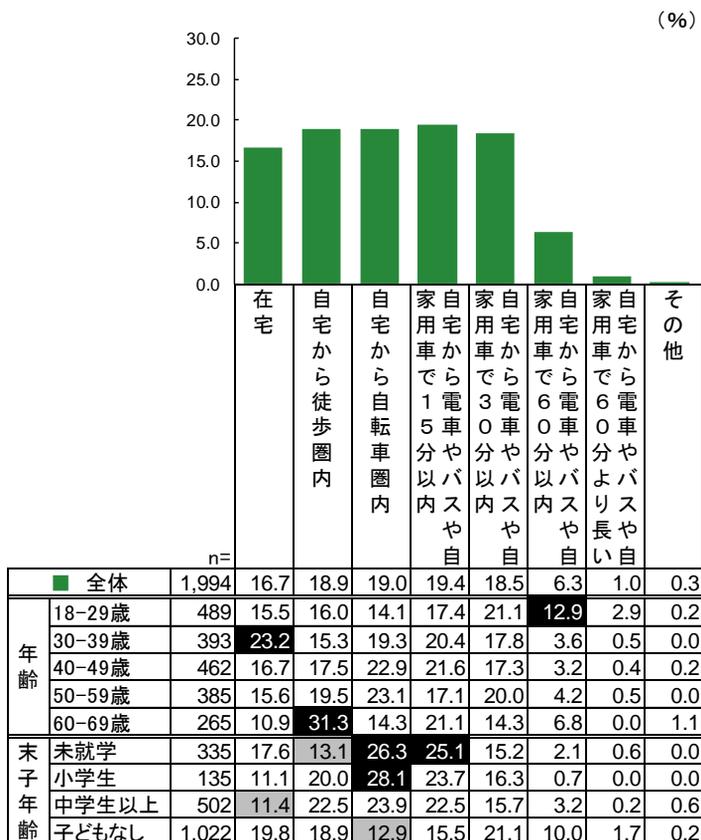
反転シロスキ ...全体の数値より5ポイント以上大きい (n=30以上)

灰色アミカケ ...全体の数値より5ポイント以上小さい (n=30以上)

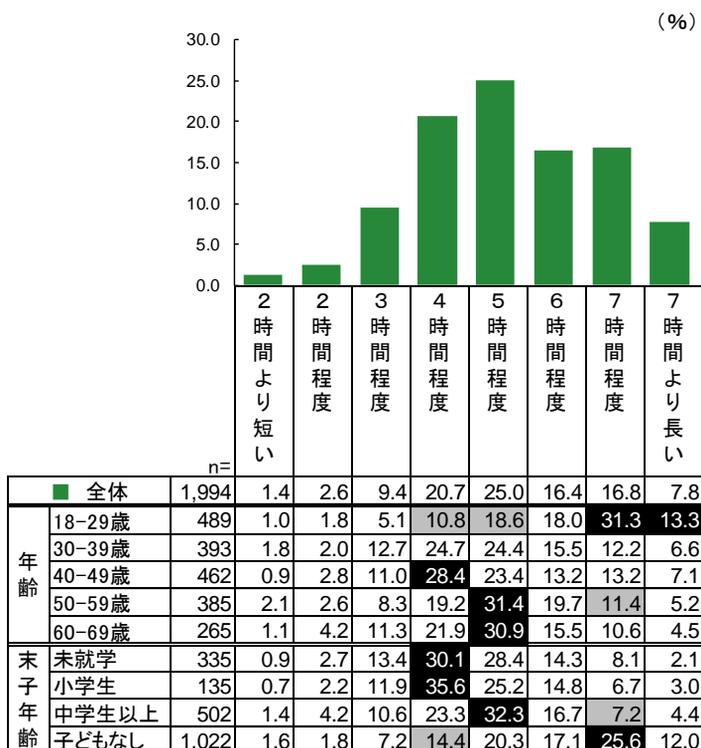
## 未就業者の希望

- 未就業者の希望の通勤時間は、「30分以内」までで9割以上を占める。この傾向は、正社員、アルバイト・パートと同じだが、「在宅」の割合が、正社員、アルバイト・パートよりも増える。就業時間は、「5時間程度」が25.0%と最も多く、次いで「4時間程度」20.7%が続く。**フルタイムの勤務ではなく、自宅近くで短時間勤務を想定している人が多い。**

### ■通勤時間



### ■就業時間

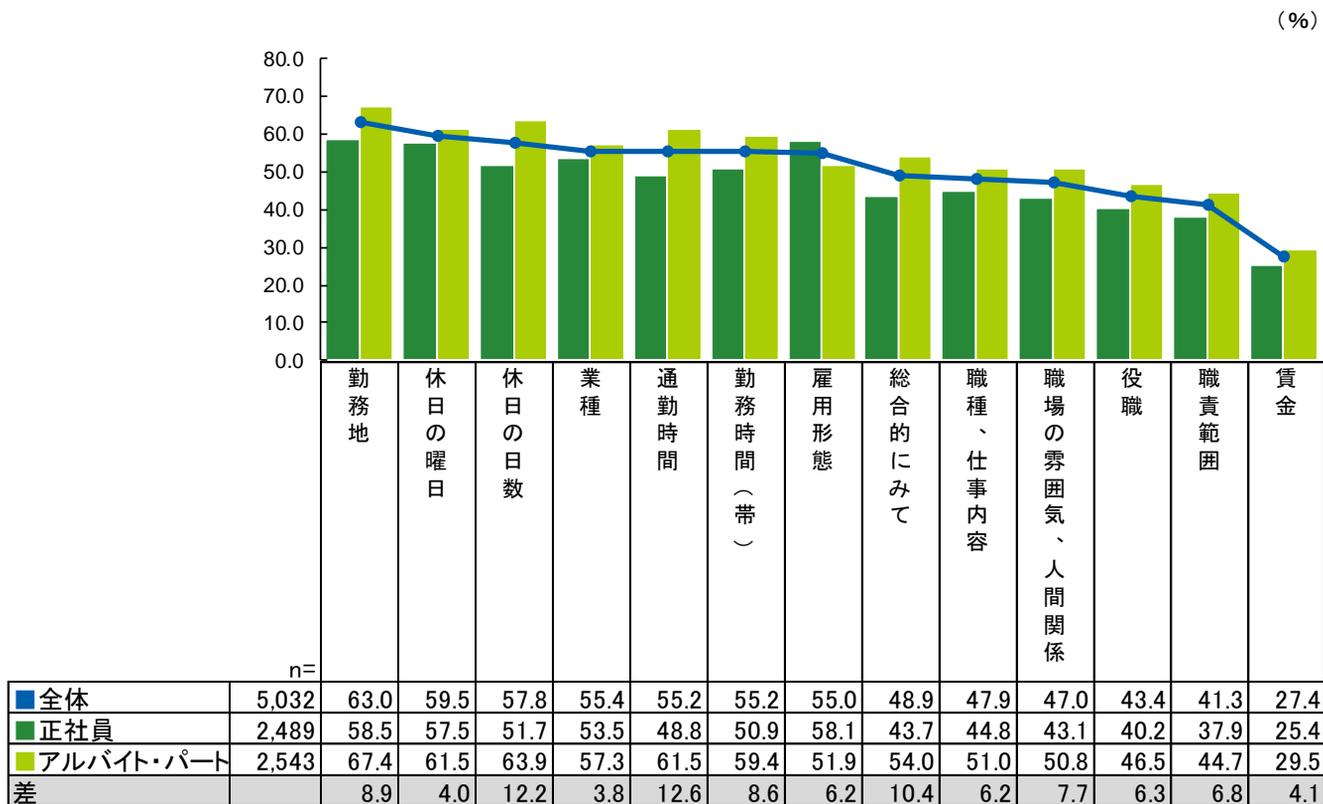


反転シロスキ ...全体の数値より5ポイント以上大きい (n=30以上)

灰色アミカケ ...全体の数値より5ポイント以上小さい (n=30以上)

## 参考) 仕事の満足度

- 全体では、「勤務地」「休日の曜日」「休日の日数」が6割程度と高い。正社員とアルバイト・パートで比較すると、全体的にアルバイト・パートの方が満足度が高く、特に「通勤時間」「休日の日数」は12ポイントの以上の差がある。アルバイト・パートは通勤時間に関しては、現状と希望の乖離が少ない（P.4-5参照）ことが、満足度からうかがえる。



※全体の順位で並び替え

※「たいへん満足／満足／どちらともいえない／不満／たいへん不満」の5段階で聴取し、「たいへん満足／満足」の合計値